

UCR-JIU Pharmacy Internship Program 2014

米国薬学研修 UCR2014 の最終日

「Certificate Ceremony of JIU Pharmacy Internship Program 2014」

2014年2月27日(木)、米国薬学研修 UCR2014 の2週間にわたる研修プログラムも最終日を迎えました。修了式では一人ひとり演台に立ち、ホームスティファミリーや講師の先生方への感謝の言葉のあと、米国カルフォルニア州リバーサイドでの薬学研修において何を学んだか、そして、これからの自身の将来像について英語で1分間スピーチをしました。研修前は、みんなの前でプレゼンテーションすることにためらっていたメンバーでしたが、2週間毎日1回は英語でプレゼンする練習を重ねたため、それぞれ堂々とマイクに向かって話す姿が印象に残りました。翌朝、いよいよリバーサイドを離れる日となりました。メンバーはホームスティファミリーに家族のように迎えられて過ごした日々を名残惜しんでいました。この経験は、それぞれの心の中で大切に育んでほしいな。



メンバーの日記より

2/27/2014 (Thu) Certificate ceremony

○今日、私は、ホームステイ先のお母さんが勤めている KAISER PERMANTE という病院を見学させてもらいました。その病院は患者が恐がらないように壁の色を白だけでなくカラフルにしていたり、おしゃれなカフェがあって、まるでアウトレットみたいでした。病院のスタッフたちが本当に病院がすきというのが伝わってきました。私も、その様な職場で働きたいなと思いました。(T.Y.)

○最終日である今日はセレモニーが行われた。一人ひとりが様々な思いを込めた笑いあり涙ありのスピーチはとても感動的なもので、私もつられてつい涙ぐんでしまった。この2週間は長いようで短く、目に映るのも全てが新しいことだらけで忙しい日々であったが、毎日非常に充実して楽しかった。あの時、この研修に参加しようとして良かったと心から思った。お世話になった先生・スタッフの方々や2014年 UCR メンバーに感謝したい。(K.K.)

○最終日は、英語でのポスターセッションのトレーニングと修了式を行った。修了式では英語でスピーチを行ったが、全員のスピーチが素晴らしいものだった。あまりにも英語力の低かった自分がここまでできたのも、様々な人の手助けによるものである。このプログラムに携わってくださった方々、ホストファミリー、そして一緒に海を渡った仲間全員に感謝している。また、帰国の際、LA に向かうバスの中から素晴らしい虹を見ることが出来た。まるで、カリフォルニアが我々の前途を祝福してくれているのではないかと思うほどのものだった。メンバーが描く夢は皆異なるが、今回の研修をスタートラインとして、それぞれの目標に向かってがんばっていきたいと思う。(Y.M.)



3月1日(土)、全員無事に成田空港に到着。秋元先生と菅原さんが空港まで出向かいに来てくださる。記念の盾は、UCR School of Medicine と本学との学术交流のさらなる発展を願って頂いたもの。最後に、米国薬学研修 UCR2014 は、日米両国で多くの方々にご支援いただき、無事終了しました。心より感謝申し上げます。(K.T.)